

令和6年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	福祉保険課		電話番号	直通	989-5512
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ				
政策	認め合い支え合うまちの実現		施策分野	地域福祉	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	129,271 千円	今年度 予算額	141,550 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	普段生活する中で特に悩み や不安を感じていない町民 の割合	目標値		15.0	15.2	15.4	15.7	16.0	%	X
		実績値	14.8	19.4	47.0	41.4				
2	ボランティア活動等をして いる町民の割合	目標値		9.1	9.3	9.5	9.8	10.0	%	B
		実績値	8.7	6.5	10.0	9.5				
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
				総合評価			B：順調			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	低所得世帯上下水道料金の助成、成年後見の推進、福祉団体等への補助、戦没者追悼事業の実施、地域福祉計画の策定、福祉施策推進・評価委員会事務局、福祉会館指定管理委託、福祉会館の施設整備、地域福祉基金の活用、法定外援護費の実施
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・住民の家族構成、心身状態、経済状況、価値観やニーズが多様化し、支援が必要な者（世帯）の課題が複雑かつ複合的になっている。 ・平成30年4月施行「改正社会福祉法」において、高齢、障がい、子ども、生活困窮など各福祉分野が制度を超えて横断的に対応できる体制や、地域生活課題に対する多機関の協働による包括的な相談支援体制の整備が必要とされている。 ・認知症や精神障がいなどで判断能力が不十分な方の権利や財産が侵害されることのないよう、成年後見の推進が求められている。 ・成果指標1の現状値及び令和3年については、地域福祉計画策定に伴うアンケート結果、令和4年は住民意識調査の結果を使用したことで、目標値との間に差が生じた。 ・福祉会館の浴室利用については、人件費や光熱費の高騰及び施設の老朽化に伴い年々費用が増大している。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・参加支援事業、生活困窮者支援事業、アウトリーチ等を通じた継続支援等重層的支援を支える各事業を実施し、重層的支援体制整備のさらなる推進を図る。 ・安心して生活できる地域を目指し、地域福祉の拠点である「社会福祉協議会」と町との一体的な施策検討と実施を進めながら、地域住民のつながりや居場所づくり等を行う。 ・「低所得世帯上下水道料金助成事業」は、ライフライン費用の助成であることや対象者が他制度と重複していることから、事業実施の必要性や可否も含め、対象者の把握方法や周知方法などについても検討する。 ・福祉会館の浴室利用について、夜間利用の見直しや入浴事業の在り方について調査検討する。